





















































































KHZUHIKU SHIMAMOTO

■驚吹きすさぶなか、ひょう絵と競われ、ただ一人枝色 ■の前に立つ、変の転枝生・陶美寶。 彼のゆくところ、 ■薫とびかい、いなずま差るという。だが、軽枝一首首、 ■滝袋をまっていたのは、基るべき一葉の地鑑だった!!

雑誌 45020-81

ISBN4-09-121081-3 C0279 ¥360E



























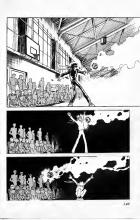




























1年11組教室







155



























































































^{第2語} 鼠を呼ぶ男!!























炎の転校生日



























































































炎の転校生

















